

第5回

市町村 考える シンポジウム の 長寿命化を

参加費
無料



“ふくしま発”

2016
11/29 (火)
13:30~16:45

開催
場所

日本大学工学部
ハットNE AV講義室

近年、東北地方における橋梁長寿命化の取り組みが、全国から注目されています。その一つに復興道路等におけるコンクリート構造物の品質確保・耐久性確保の取り組みがあります。また、東北地方におけるインフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開を目的としたプロジェクトが内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)に採択され、今後、東北の維持管理拠点となることが期待されています。本シンポジウムではこれらの取り組みを先導する佐藤和徳氏、久田真先生にこれまでの活動と今後の展望について講演を頂きます。一方、福島県における橋梁長寿命化のための人材育成の重要性を指摘する磯松教彦氏に、福島県内の道路構造物の現状と今後の技術者養成を含む展望について講演を頂きます。さらに、こうした動きと連動し、当研究会で何をすべきかという視点で岩城一郎先生(当研究会代表)に話題提供を頂きます。最後に、以上の4人が登壇し、会場と一体となり自由な意見交換を行うトークセッションを展開します。

【司会】 日本大学工学部助教 笠野 英行

開会挨拶 13:30-13:35

日本大学工学部教授 岩城 一郎

基調講演 13:35-15:05

国土交通省東北地方整備局地方事業評価管理官
(元 南三陸国道事務所長)
佐藤 和徳 (30分)

「復興コンクリート構造物の品質確保・耐久性確保に関する取り組み」(仮題)

東北大学大学院工学研究科教授 久田 真(30分)

「東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開」

福島県土木部道路管理課課長 磯松 教彦(30分)

「福島県における道路構造物の現状と維持管理技術者養成の必要性」(仮題)

話題提供(仮題) 15:05-15:25

前掲 岩城 一郎

「ふくしま発 橋梁の長寿命化に向けた研究会の使命」

休憩 15:25-15:45

トークセッション 15:45-16:40

佐藤 和徳、久田 真、磯松 教彦、岩城 一郎

閉会挨拶 16:40-16:45

申込
方法

原則E-mailにて、氏名、勤務先(所属、住所、電話番号)を記入の上、下記申込先へご送付ください。E-mailが使用できないなどやむを得ない場合のみ、裏面を利用しFAXにてお申し込みください。申込期限は11月24日です。なお、定員(200名)になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください。

申込
先

ふくしまインフラ長寿命化研究会事務局 担当: 清田 貴子
E-mail: concrete@civil.ce.nihon-u.ac.jp TEL&FAX: 024-956-8716

“ふくしま発” 第5回 市町村桥梁の 長寿命化を考えるシンポジウム

開催日時 平成28年 **11月29日(火)**
13:30~16:45

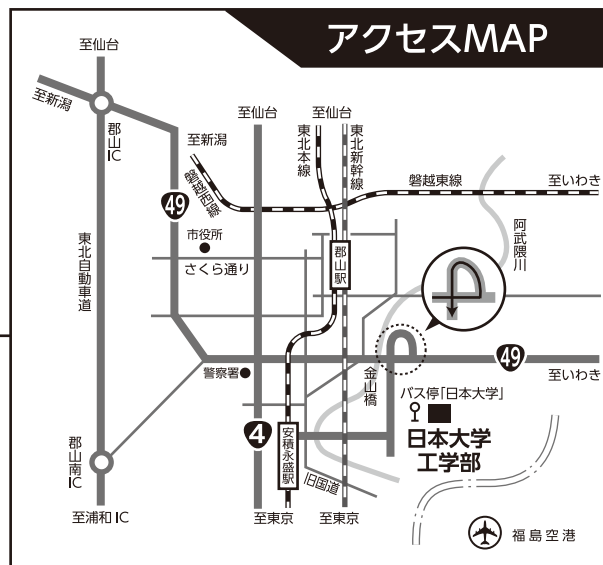
会場 **日本大学工学部
ハットNE AV講義室**

日本大学工学部

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1

JR東北本線

- ① 郡山駅→日本大学下車(日大行バス 20分)
- ② 安積永盛駅下車(徒歩15分)



**大学内
MAP**



《お申込み欄》 枠内に必要事項をご記入ください。

参加者 氏 名 (複数名 記入可)			
勤務先		所属	
住所		TEL	

問合せ先

ふくしまインフラ長寿命化研究会

担当：清田 貴子

E-mail : concrete@civil.ce.nihon-u.ac.jp